



ほけんだより 7がっ

川越市立寺尾中学校 保健室発行
令和2年7月号 ~お子さんといっしょにお読みください~

健康の合言葉「TeRaO (手洗い・規則正しい生活リズム・ゼロ密)」を守って、心も体も健康に過ごしましょう!

梅雨明けの待ち遠しいころとなりました。学校が再開して1ヶ月半が経ち、子供たちは少しずつ学校生活のリズムを取り戻しており、通常授業を頑張っています。

ただ、『新しい生活様式』には、まだ慣れずにいる生徒も見られます。学校では、自分と友達を守るために、「3密を徹底的に避ける」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」など、基本的な感染予防対策を継続することを指導しています。しかし、友達と2列3列になり、肩を寄せ合っておしゃべりをしたり、廊下や階段をまとまって歩いたり、教室の中で体を触れあってじゃれ合ったりと、教職員が「離れましょう。」と何度声かけをしても、あちらこちらでかたまりができています。

ぜひ、ご家庭でも、「密集・密接にならないようにしようね。」と繰り返しお話ください。よろしくお願いします。

感染リスクをゼロにすることはできないという事実を前提として、『ウィズ・コロナ』を受け入れ、感染レベルを可能な限り低減させながら、これからも寺尾中学校の教育活動を安全・安心に進めていくために、保健室も、衛生管理に努めたり、情報を発信したり、生徒たちへの保健指導をしていきたいと思えます。ご家庭での体温測定とその報告、マスクの用意等、引き続き、ご協力をお願いいたします。

6月16日に文部科学省より『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ~学校の新しい生活様式~ Ver.2』が出されました。その中で、マスクの着用について、追記がありましたので、現在はこれに沿って指導をしております。

- 基本的には常時マスクを着用することが望ましい。
- 熱中症など健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。
熱中症も命にかかわる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させる。
- 生徒本人等が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導する。
- 体育の授業においては、マスクの着用は必要ない。



体調不良者は無理をさせず、早退となります。
ご理解とご協力をお願いします。



6月16日文部科学省より出された『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ~学校の新しい生活様式~ Ver.2』や、5月22日に埼玉県教育委員会より出された『彩の国新しい学校生活5つの安心宣言』により、登校後に風邪の症状がみられる生徒は、保護者に連絡し、その後安全に帰宅させ、症状がなくなるまで自宅で休養していただいています。学校から早退の連絡をさせていただくことがありますので、日中連絡がとれる連絡先を、今一度、お子様に伝える等し、ご確認いただけますよう、よろしくお願いします。

あわせて、学校にご提出いただいている「緊急連絡カード」の保護者の連絡先が、最新のものとないケースがあります。勤務先が変わった、携帯電話の番号が変わったなど、年度当初にカードにご記入いただいたものに変更がある場合には、学校までご連絡ください。

また、同マニュアルにより、登校前の自宅にいる時点で風邪症状がある場合には、無理して登校せず、自宅で休養していただくことになっております。自宅での朝の健康観察で、かぜ症状がある場合には、登校しないよう、改めてご協力をお願いいたします。

連日、体調不良のみられる生徒の保健室来室が続いています。問診していると、「朝、起きてからずっと体調が悪かったけど、家の人には何も言わずに登校した。」「この3日間ずっと体調が悪いけど、健康観察記録カードに書いてないから、家の人も知らないと思う。」など、体調不良を保護者に相談していなかったり、健康観察記録カードに体調不良を記入していなかったりする生徒が時々見受けられます。

感染症対策の3つのポイントは、①感染源を絶つこと、②感染経路を絶つこと、③抵抗力を高めること、です。学校内で感染源を絶つためには、外からウイルスを持ち込まないことが重要です。特に、感染経路不明の感染者が全国で発生している現在、朝の健康観察結果は、その日一日学校で過ごせるかどうかの大切な判断資料になります。お子様の登校前は、保護者の皆様にとっても大変お忙しい時間帯だと思いますが、ぜひ、お子様の朝の健康状態をご確認いただけますよう、よろしくお願いします。

熱中症予防は3つの“とる”!!

- ①周囲の人とは2mの距離をとる!
- ②十分な距離をとったら、マスクをとる!
- ③マスクをとったら、水分をとる!



今年は、感染予防のためのマスクを着用しながら過ごす夏になるため、より一層の熱中症予防対策が必要になってきます。水分補給のための水筒をお子様を持たせてくださいますよう、よろしくお願いします。